

STOP!! 住宅火災



(住宅火災の参考写真)

平成29年1月26日に、港区内で死者の発生した火災がありました。冬は空気が乾燥し、火災が発生した場合は拡大しやすい季節です。

火の取扱いには十分注意をしてください。また、放火されないよう自宅付近の整理整頓に努め、防火対策を今一度確認しましょう！



STOP! 電気器具等の火災

- タップは決められた容量内で使用しましょう。
- 使っていないプラグは抜いておきましょう。
- プラグ、コンセントは定期的に掃除しましょう。
- 電気コードの家具などの下敷き、折れ曲がりに注意しましょう。また、束ねて使用しないようにしましょう。

STOP! こんろ火災

- 調理中に離れないようにしましょう。
- 周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 防災製品のエプロンやアームカバーを使用しましょう。
- 火が鍋底からはみ出さないように調節しましょう。
- 安全機能（S i センサー）付きこんろを使用しましょう。



STOP! ストーブ火災

- 周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 外出時、就寝時は必ず消しましょう。
- 石油ストーブ等は必ず消してから給油しましょう。
- 洗濯物を乾かすために使用しないようにしましょう。

通報・消火・避難

- 火災が発生した場合は、近くの人に知らせ、協力して通報、消火しましょう。
- 消火は、煙を吸わないように低い姿勢でおこないましょう。
- 炎が天井に届くような場合や身の危険を感じたら、避難を優先しましょう。
- 避難路（階段・廊下など）は、整理整頓しましょう。



もしもに備えて

住宅用火災警報器

～設置と維持管理を～



あなたと家族の命を守る！

- 設置場所は **全ての居室・台所・階段**です
- 性能維持のため、ほこりなどを**掃除**しましょう
- ボタンを押すか、ひもを引いて**定期的な点検**をしましょう
- **交換時期**を確認しましょう（メーカーでは**10年**を目安にしています）



消火器

火を使う場所には**消火器**を備えましょう。

家庭用の小型サイズのものや、デザイン性が高いものも販売されています。

より小型のエアゾール式のものもあります。

注意！！

- 悪質な訪問販売、点検には注意しましょう
- 使用期限を守り、劣化に注意しましょう

防災品

防災品を使うことで、火災の被害を抑え、延焼を遅らせたりすることができます。

防災品には性能を表すマークがついています。

家庭で使用する主な防災品

- カーテン
- アームカバー
- 非常持出袋
- 寝具類
- エプロン
- 仏壇マット

病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…
電話でも！ ネットでも！

#7119

電話で相談
東京消防庁救急相談センター

ネットでガイド
東京版救急受診ガイド

#7119 電話

#7119 検索

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局